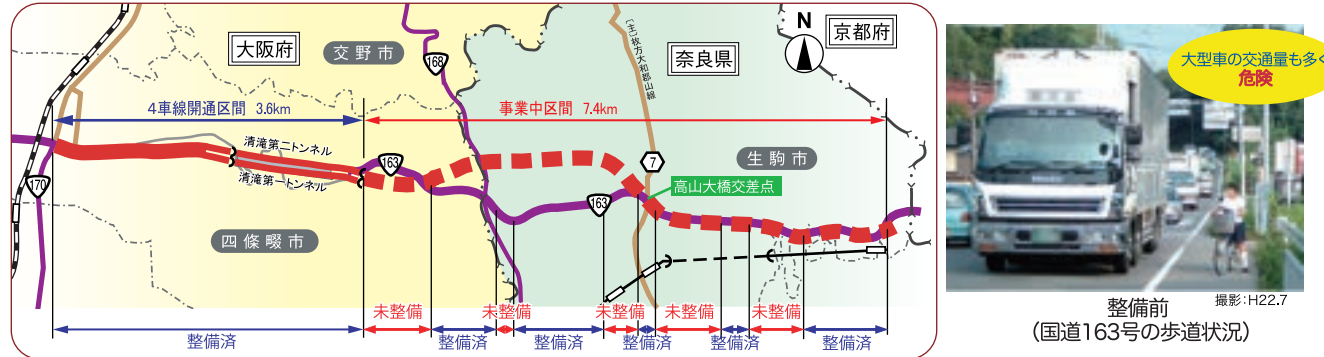


交通安全確保

整備前の国道163号は歩道の整備率 << 約4割 >>

以前は歩道が整備されていない区間が多く、歩行者が路肩や車道を通行しなければならない区間もありました。現在は歩道の整備率が約8割まで進み、今後の整備により歩道が連続することで、歩行者の安全性が向上します。

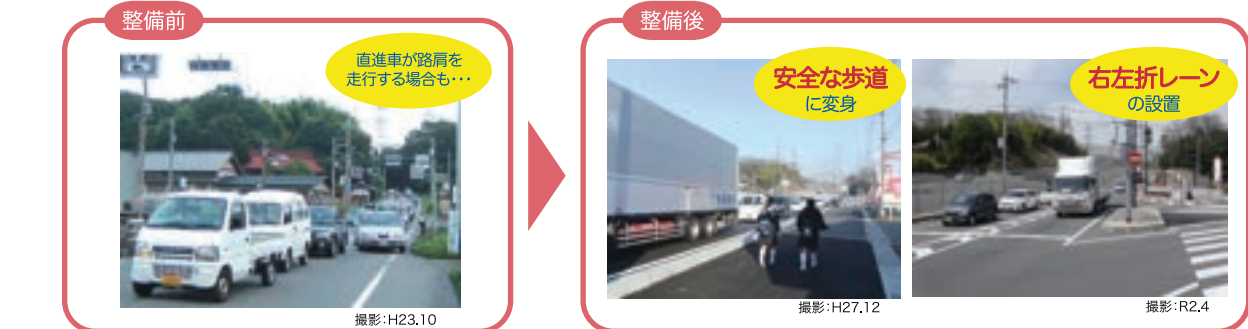
●国道163号の歩道整備状況(令和2年7月現在)



整備前 (国道163号の歩道状況)

●高山大橋交差点の整備により歩行者の安全性が向上

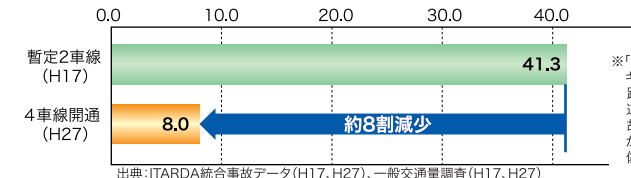
高山大橋交差点では、平成27年12月に歩道や地下横断歩道の整備とあわせて右左折レーンの設置などの交差点改良も行われ、**交差点周辺の安全性が大幅に改善**されました。



全線整備により死傷事故率が大幅に減少

清滝生駒道路の4車線開通区間(東中野交差点～清滝トンネル東側=3.6km)では、暫定2車線時と比較して、**死傷事故率が8割減少**しており、事業中間区間においても開通後は同様の効果が期待されます。

●4車線開通区間(3.6km)における死傷事故率の変化



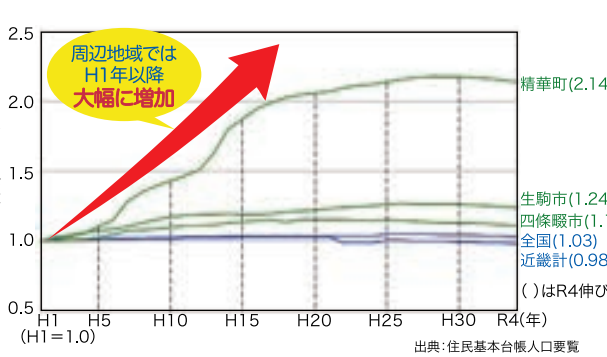
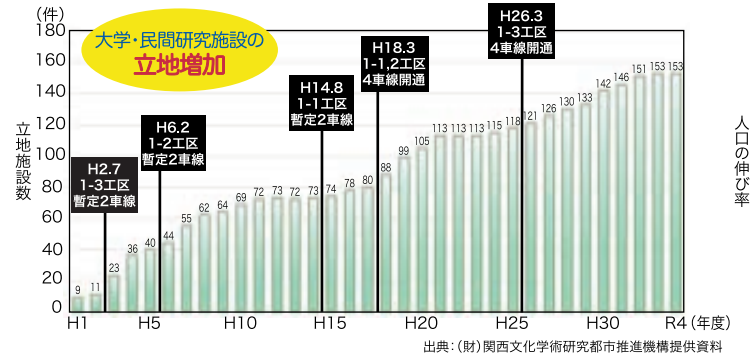
地域の活性化

関西文化学術研究都市への支援

清滝生駒道路が整備されることにより、ネットワークが形成され、関西文化学術研究都市の大学・民間研究施設の立地の増加や人口の大幅な増加など**地域活性化促進支援の一端**になっています。

●関西文化学術研究都市の立地施設の推移

●周辺人口の推移



清滝生駒道路 歴史と文化を結ぶ道



浪速国道事務所
〒550-0025 大阪府大阪市西区九条南1-4-18
TEL.06-6581-1802(代)
ホームページ <https://www.kkr.mlit.go.jp/naniwa>

国土交通省 近畿地方整備局

道路緊急ダイヤル **#9910**
24時間受付

道路の異状を発見したらお知らせ下さい
落石、凍結、陥没、倒木、土砂災害、急激な水位の上昇、道路陥没、穴の開き、のり面剥離、その他

HomePage
YouTube
@Twitter

清滝生駒道路

〈国道163号〉

きよたきいこまどうろ

歴史と文化を結ぶ道



国道163号

清滝生駒道路

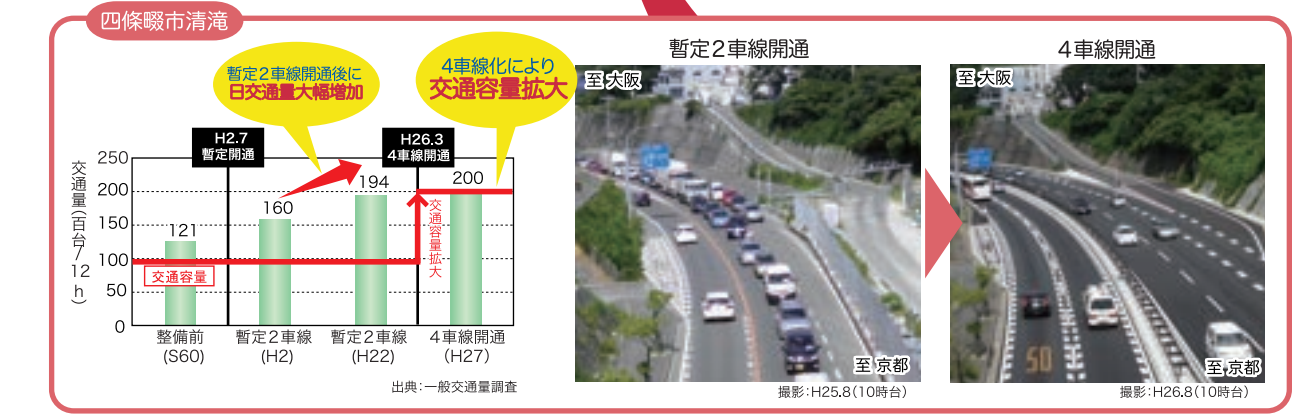
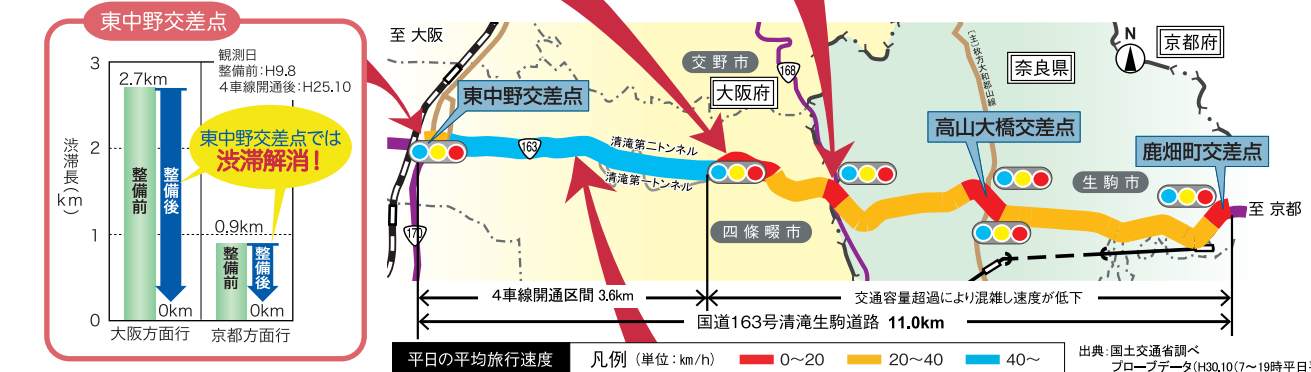
清滝生駒道路の整備により、さまざまな効果がもたらされます。

交通混雑の緩和

整備前の国道163号は慢性的に渋滞が発生

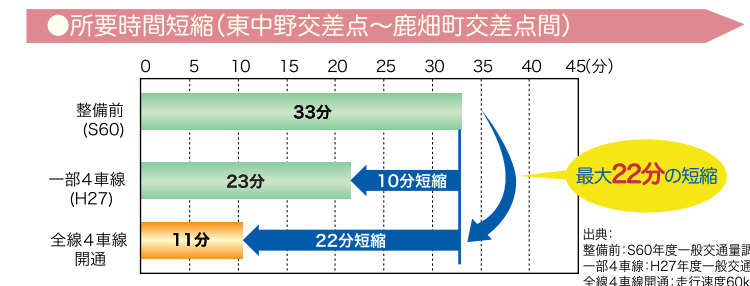
国道163号は交通容量不足により、慢性的に渋滞が発生しておりました。平成26年3月までに4車線開通した区間では、渋滞が解消され、**スムーズな走行**が可能になりました。下田原ランプ以東につきましても清滝生駒道路の整備を進めていく事により、**交通混雑の緩和**が期待されます。

●整備前の混雑発生と整備後の混雑緩和の様子



全線開通により所要時間が短縮

清滝生駒道路が全線4車線で開通すると所要時間は約11分に短縮され、整備前と比較すると最大で**22分(約7割)短縮**となります。



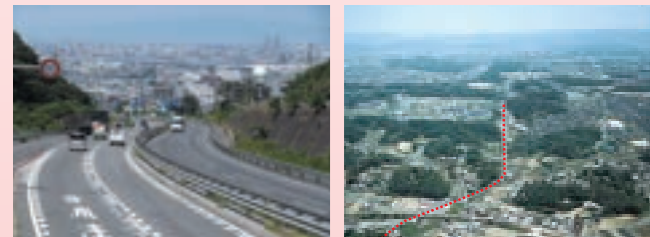
清滝生駒道路

〈国道163号〉

清滝生駒道路は、大阪市・大阪府東部・奈良県北部・京都府南部などを連絡する国道163号のうち、大阪府四條畷市中野から奈良県生駒市鹿畑町を結ぶ幹線道路であり、関西文化学術研究都市の開発などによる交通量の増加に伴う交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした大阪府域（清滝区間5.3km）、および奈良県域（生駒区間5.7km）延長11kmの道路です。

清滝区間は、昭和54年度に事業化し、平成26年3月までに、東中野交差点から清滝トンネル東側3.6kmにおいて4車線で開通しました。

生駒区間は、昭和61年度に事業化し、平成27年12月に高山大橋交差点において側道部を開通しました。



■事業経緯

年度	事業内容
昭和54年度	事業化 都市計画決定（1-1、1-2、1-3工区）（昭和55年2月25日）
昭和56年度	用地買収着手
昭和59年度	清滝第一トンネル工事着手
昭和62年度	都市計画決定（1-4工区）（昭和63年2月29日）
昭和63年度	1-2、1-3工区工事着手
平成2年度	清滝第一トンネルを含む1-3工区L=1.7km 暫定2車線開通（平成2年7月）
平成5年度	1-2工区L=0.7km 暫定2車線開通（平成6年2月）
平成7年度	1-1工区工事着手
平成9年度	雨量による交通規制区間解除（平成9年4月）
〃	1-1工区（東中野～中野ランプ）L=0.3km 暫定2車線開通（平成9年9月）
平成10年度	地域高規格道路に指定
平成14年度	1-1工区L=0.9km 暫定2車線開通（平成14年8月）
平成17年度	1-1、1-2工区L=1.9km 4車線開通（平成18年3月）
平成23年度	都市計画変更（1-4工区）（平成23年8月19日）
〃	清滝第二トンネル工事着手、1-4工区工事着手
平成25年度	1-4工区ランプ部 L=0.8km 2車線開通（平成25年11月）
〃	清滝第二トンネル含む1-3工区L=1.7km 4車線開通（平成26年3月）
昭和60年度	都市計画決定（昭和60年8月9日）
昭和61年度	事業化 用地買収着手
平成元年度	地域高規格道路に指定
平成10年度	用地買収着手（高山大橋交差点部）
〃	都市計画変更（2-1、2-2工区）（平成17年3月8日）
平成23年度	高山大橋交差点部工事着手
平成27年度	2-2工区高山大橋交差点側道部開通L=0.4km（平成27年12月）

■計画諸元

事業区間	清滝区間	大阪府四條畷市中野～同市下田原	生駒区間	奈良県生駒市北田原町～同市鹿畑町
延長	5.3km		5.7km	
道路規格	第3種第2級		第3種第2級	
設計速度	60km/h		60km/h	
車線数	4車線		4車線	
車線幅	3.5m		3.5m	
標準幅員	25.0m（片側歩道区間 21.5m）		25.0m	
最小曲線半径	400m		200m	
最急縦断勾配	7.0%		5.0%	

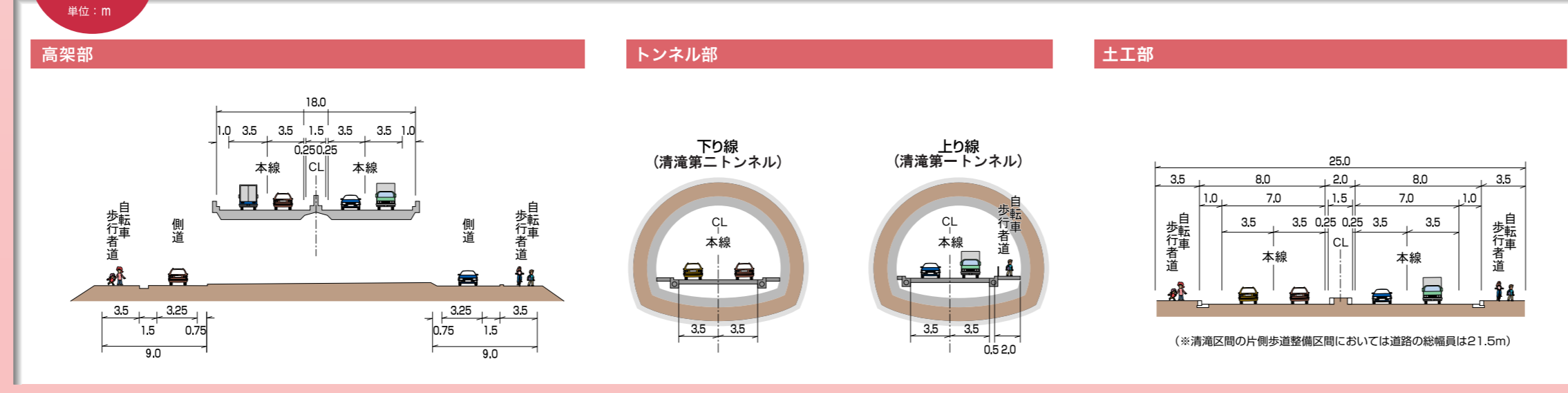
■周辺アクセスの概要

関西文化学術研究都市周辺においては、第二京阪道路・京奈和自動車道・清滝生駒道路を結ぶネットワークを形成し、地域相互の交流促進や関西文化学術研究都市と関西国際空港や阪神港など大阪方面との連携強化を進めています。

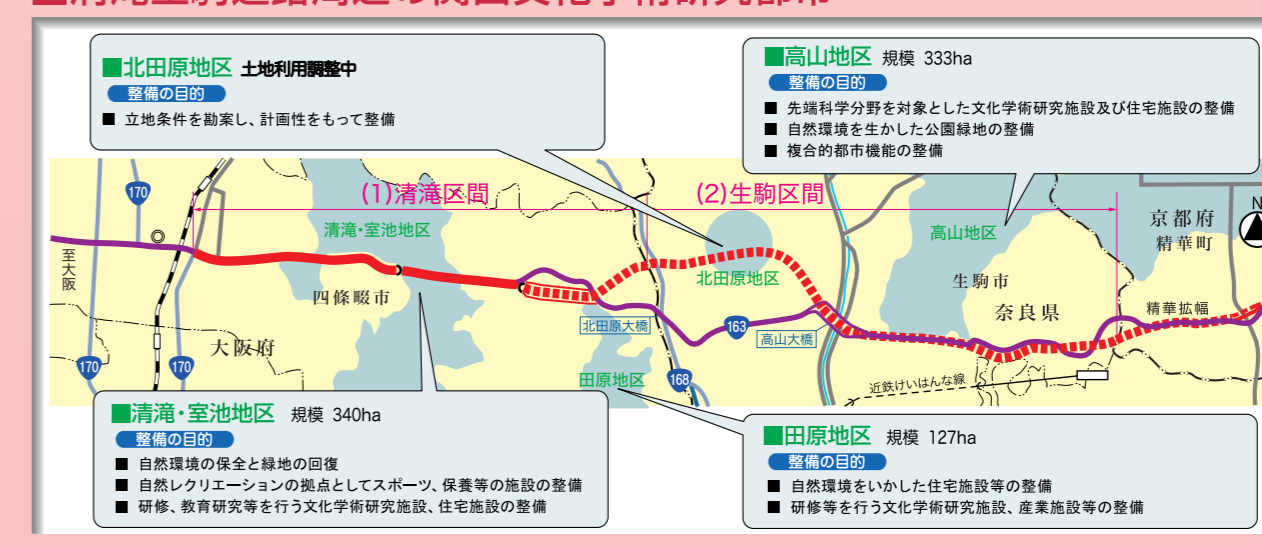
平成29年度に淀川左岸線延伸部、平成30年度に京奈和自動車道の「大和北道路」（奈良北IC（仮称）～奈良北IC（仮称））が事業化され、さらなる周辺アクセスの強化が期待される地域です。



標準断面図



■清滝生駒道路周辺の関西文化学術研究都市



■関西文化学術研究都市の概要

関西文化学術研究都市は、大阪・奈良・京都の三府県にまたがる豊かな自然・歴史・文化的環境と地理的に有利な条件に恵まれた京阪奈良に立地しています。産・学・官の密接な連携のもとに文化、学術、研究、産業の新しい拠点を形成するとともに、未来を拓く知の創造都市として、魅力ある住居環境、都市環境の創造を目指すナショナルプロジェクトです。

